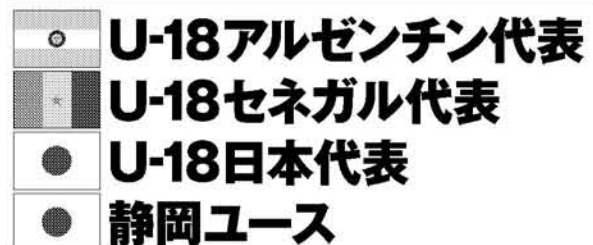


SBS²⁰⁰⁵カップ 国際ユースサッカー

今年も8月18日からSBSカップ
国際ユースサッカーが開催される。
今大会はアルゼンチンとセネガルの代表を招き、
U-18日本代表、静岡ユースがこれに挑む。

■参加チーム



■大会日程

8/18 (木) U-18日本代表 **VS** U-18セネガル代表
14:00 KICKOFF
静岡ユース **VS** U-18アルゼンチン代表
16:20 KICKOFF
会場 / 藤枝総合運動公園サッカー場

8/19 (金) U-18日本代表 **VS** 静岡ユース
14:00 KICKOFF
U-18アルゼンチン代表 **VS** U-18セネガル代表
16:20 KICKOFF
会場 / 日本平スタジアム

8/21 (日) U-18日本代表 **VS** U-18アルゼンチン代表
15:00 KICKOFF
静岡ユース **VS** U-18セネガル代表
17:20 KICKOFF
会場 / 静岡スタジアムエコパ

■主催 / (財)日本サッカー協会、(財)静岡県サッカー協会、
静岡新聞社・静岡放送
■後援 / 外務省、文部科学省、アルゼンチン共和国大使館、セネガル共和国大使館、
静岡県、静岡県教育委員会、(財)静岡県国際交流協会、
藤枝市、静岡市、袋井市、開催各市教育局、
開催各市国際交流協会、TBS、(社)静岡県サッカーを愛する会
■協力 / オフィシャルボール / フーマ
■お問い合わせ / 静岡新聞社・静岡放送事業局内 大会事務局
TEL 054-284-8927

前売券 好評発売中

	前売券	当日券
一般	1,300円	1,500円
高校生	600円	800円
中学生	300円	500円
小学生	200円	300円

※前売券は1枚で3日間有効(料金は税込)
一般券は1枚につき小学生以下1名無料

●チケット取り扱い
チケットぴあ
ファミリーマート・セブンイレブン・サンクス(Pコード 679-334)
ローソン(Lコード 43945)
CNプレイガイド 予約電話番号 052-968-0099
(※チケットはサークルK店頭渡し)
静岡新聞社・静岡放送(本社事業局、東部総局、浜松総局)

SBSテレビ

2005 SBSカップ国際ユースサッカー SBSカップから世界へ

これからのON-AIRスケジュール
7月15日(金)～8月17日(水) (全10回放送)

7/15 (金) 12:55～13:00 高原直泰選手(ハンブルガーSV)

7/19 (火) 24:59～25:04 内田篤人選手(清水東3年・U-18日本代表)

7/22 (金) 12:55～13:00 武田修宏氏 (元日本代表FW)

※放送時間は、変更になる場合もあります。



ユースの年代というのは、プレーヤーとして非常に伸びる時期です。そういうときに、海外の強豪と試合をするということには図り知れない価値があります。特に僕たちの世代は、今と違って海外のチームと対戦する機会が少なかったため、SBSカップは非常に貴重な、そして大きな経験ができる場でした。

自分の「位置」がわかる

今、その時の自分のプレーをDVDで観ると、「何をやっているんだろ」と思うけど、でも当時はとにかくがむしやうで無我夢中。何でもいから吸収したい、サッカーが少しでもうまくなりたいたいという気持ちでいっぱいでした。暑さの中の大会で、すごくしんどいけれど、暑い中でも試合をやれて嬉しいという気持ち大きかったのを覚えています。

海外のサッカーを目の当たりにして、追いついてやろうと思ったし、性格的に負けず嫌いなので、うまいなと思いつつも負けたくないという気持ちも強くなったと思いますね。

相手の技術もフィジカルも、基本的なことすべてが違っていました。当時は、日本のサッカーのレベル自体が低かったからです。今と比べられるとちよつと困るんですけど(笑)。その違いを感じることで、自分の位置を把握できるし、それがわかればそこからどうステップアップしていけばいいのかも自然にわかります。それが成長していく上ですごく大事なことです。伸び盛りのときにそれを知ることができるということに、この大会の価値があると思います。僕もここで、自分の位置をある程度判断できたと思うし、そういうことの積み重ねで、今の自分があると思っています。

自分の持てるものすべてを出して、全力で戦うことで初めて、自分の今の位置を知ることができるのだと思いますから。

出場する選手には、いい結果が出るようにがんばって欲しいですね。それと、ぜひ自分の良さを出すことを心がけてもらいたい。思い切り自分を世界にぶつけてみて欲しい。持っている技術、考えなど、いろいろなことを、若いときに世界と対戦できるこういう大会で試してもらいたいと僕は思います。

★シリーズ広告のご案内

Jリーグや海外チーム、日本代表で活躍してきている静岡県出身の選手、監督に、SBSカップや自身のサッカー観について語っていただくシリーズ広告です。今後、佐藤由紀彦選手(清水)、高原直泰選手(ドイツ・HSV)、小野伸二選手(オランダ・フェイエノールト)、武田修宏氏(元日本代表)、山本昌邦監督(磐田)が登場する予定です。お楽しみに。

MF 澤登正朗選手プロフィール
1970年生まれ。静岡県富士宮市出身。
東海大学第一高校から東海大学へ進学、92年に清水エスパルスに入団。高校時代からゲームメーカーとして活躍し、全大会を制覇するだけではなく、各年代のユース代表にも選ばれ、大学時代はバルセロナ五輪予選を戦う代表チームでキャプテンを務める。Jリーグがスタートした93年に新人王に選出。日本代表としても16の国際Aマッチキャップ数を積み重ねながら13年間エスパルスの不動の10番として活躍を続ける名手。04年までのJ通算出場試合数は356試合で歴代2位。

〔SBSカップ出場歴〕
85年(高校1年) 東海第一高校(静岡) 帝京と対戦
87年(高校3年) 静岡県選抜チームでアメリカナ・フランチル、清水商と対戦

特集：2005 SBSカップ国際ユースサッカー

清水エスパルス 澤登正朗選手 語る。

無我夢中で

SBSカップに初めて出場したのは、ちょうど高校のチームで試合に使ってもらえるようになった時期でした。1年生の夏で、他にもたくさんいい選手がいるのに何故僕が出ているんだろという気持ちもあって、チャンスを与えられた喜びもありましたけど、不安もありましたね。

当時の自分がずば抜けた才能を持っていたとは思わないし、どこが通用したとか、そういう具体的な手応えというのはなかなか言葉にはできません。大きかったのはそういうことではなく、海外のサッカー、選手のプレーを肌で感じる事ができたということ。そして、それによって自分のその時の実力というものを知ることができたということです。

色々なことを試して欲しい

今年もSBSカップには、すごいチームが来ますね。アルゼンチンもセネガルも強豪です。僕が参加した頃は、相手がブラジルのチームというだけで、その国名にびびってしまいうようなところがありました。勝りたいとは当然思っただけでも勝てるというイメージは少なかつたかもしれない。でも、今のユース世代の選手は、海外との試合の機会も増えているし、レベルも上がっています。強豪と戦っても勝てる実力をつけてきていると思います。それを維持するためにも、こういう大会でいい経験を積むというのが、日本サッカーの力を底上げするためにも重要なことだと思います。

